

持続可能な社会環境をつくるフォーラム

都市にこそ「農」の空間が必要！

～誰もが集い・憩い・自然の恵みを実感できるコミュニティ広場～

市民・行政・企業等の協働で新鶴見操車場跡地の環境を改善しようと始まった川崎市グランドワーク事業も8年が過ぎ、花や緑に恵まれ、多様な生物が棲める空間になってきました。この試みをさらに発展させていくために、基調講演をいただき、これまでの実践活動をもとに皆様と考えていきたいと思っております。ご参加をお待ちいたしております。

【日 時】 2006年8月12日 13:30～16:30

【場 所】 「創造のもり」K2 タウンキャンパス会議室

【基調講演】 都市になぜ「農」が必要か？

【講 師】 進士五十八氏（農学博士・前東京農業大学学長）

【コーディネーター】 青木辰司氏

（東洋大学社会学部教授・NPO 法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター理事長）

【パネラー】

- ・川崎市が推進する「農」のあるライフスタイルをめざして
大根田正義氏（川崎市農業振興センター 所長）
- ・富士見公園における住民参加のコミュニティガーデン計画
萩原 茂氏（川崎市南部公園事務所 所長）
- ・暫定利用「地域の庭＝コミュニティガーデン」の実践から見えたこと
有島淑子氏（新川崎ふるさとづくりの会 代表）
- ・跡地の歴史や地域資源を活かし、協働による自然環境・コミュニティの再生
千葉美佐子氏（NPO 法人幸まちづくり研究会 代表理事）
- ・企業による環境社会貢献活動の取り組み
大竹由希子氏（パイオニア（株）CSR 推進室 主査）

【主 催】 NPO 法人幸まちづくり研究会

連絡先：千葉（TEL/FAX）044-588-2838

【協 賛】 新川崎ふるさとづくりの会・NPO 法人日本園芸福祉普及協会